



新緑が太陽の光を浴びてキラキラと眩しい季節です。

子どもたちの目もキラキラと輝いてほしい。そのためにできることは何だろう…。日々の実践を新たな目で振り返るために、教育ライブラリーの図書や雑誌をご活用ください。

教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。

この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。

教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「教師の話し方・聴き方」

石井順治／著

(ぎょうせい 2011年)

いわゆるマニュアル本ではありません。40年を超えて学校教育にかかわってきた著者による教師の話し方・聴き方についての体験的・実践的な手引書です。著者は、これを読んだ教師がそれぞれの状況に合わせて創造的に「話す・聴く」の実践を展開していってくれることを願っています。

「はじめに」の章の「教えなければと急ぐ心が、聴く側の立場を忘れさせてしまう」という著者の投げ掛けに、「私のこと??」と思いついた人はいないでしょうか。子どもたちが話を聴こうとする教師の話し方とは・・・技術的なノウハウに終わらず、教師としての構えや考え方を視野に入れた著者の回答に納得すると同時に、この回答をもとに私ならどうしようか・・・と具体的な一歩を踏み出すきっかけをくれることでしょう。

教師の聴き方、これがこの本の肝となります。著者が言うところの教師の「聴く」とは、子どもの発想、思考、発見、つまづきなどを受け止めること。これらを受け止めることで、教師は子どもたちそれぞれの考えを大切に織り合わせてつなげていくことができる。そうやって深めていく営みこそ、教師が一方的に教えるのとはまるで異なる豊かな学びとなっていくと述べています。

ではどのようにして子どもたちの考えをつなげるのでしょうか。著者が実際に参観した授業の詳細な記録をもとにした成功例がとても参考になります。「間違いに存在する子どもの考えが聴けたとき」、「予測を超える子どもの考えを受け取れたとき」、「子どもの考えと考えがつながるとき」、「子どもの考えがテキストとつながるとき」・・・様々な場面での教師のセンスある対応に立ち会うことができます。

よく聴くことで、そのようなセンスある対応が生まれることを知っているのと知らずにいるのでは、教師力の伸びに大きな違いができてくるのではないのでしょうか。教員や教員を目指す人たちに、ぜひとも読んでいただきたい一冊です。

②「知的障害や発達障害のある人とのコミュニケーションのトリセツ」

坂井 聡／著

(エンパワメント研究所 2019年)

著者は香川大学教育学部教授で、現在、附属特別支援学校長をされている坂井先生です。標題

にはコミュニケーションの「トリセツ」とありますが、たんなるハウツー本ではありません。コミュニケーションを成立させるための具体的な方法が豊富に提案されていますが、それを支える障害観についても多く、そして熱く語られています。著者が思い描くあるべき社会は、障害がある人が支援を受けながらも社会参加し、存在を認められながら、その人らしい生き方ができる社会。そうした状態を阻害しているものが障害で、障害者の能力発揮を妨げている社会的な環境が障害を生んでいます。障害を障害でなくす、機能障害を社会的不利でなくすためには、何らかの支援が必要であり、障害のある人の願いや困り感を理解する必要があります。この点でコミュニケーションは重要です。こうした著者の障害観と障害者の困り感を改善するための視点が、著者の豊富な指導経験と多くの事例をもとに明快に語られています。著者の好きな言葉は「視点は始点」とのこと。視点を柔軟に変えて障害について考えてみると、解決のヒントが見つかるのではないのでしょうか。障害者が自分らしく生きるために何が必要なのか、たくさん考えさせてくれる本です。

③「特別支援教育ですぐに役立つ！ICT 活用法 『魔法のプロジェクト』の選りすぐり実践27」

佐藤里美／監修

(学研プラス 2018年)

『魔法のプロジェクト』とは、東京大学先端科学技術研究センター、ソフトバンク、株式会社エデュアスが連携して進めるプロジェクトで、障害等のため通常の方法では学習に困難が伴う子どもたちをテクノロジーで支えようとする試みです。様々な困り感をもつ子どもたちに ICT を活用して改善した事例と使用した機器やアプリ等も紹介されています。簡潔な記述が主体の事例集が多い中で、本書では事例に登場する子どもたちの実態とそれに対する手だて、改善の様子などが非常に具体的で詳しく、子どもたちの様子が目に浮かぶようです。気が付くと読者自身も子どもたちを応援しながら、それぞれの事例を一つのストーリーとして読むことができます。特に読み書きやコミュニケーションに関する事例は大変豊富で、きっと参考になる事例が見つかると思います。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等 (抜粋)
国語教育 (明治図書)	5月号	<p>【特集】新教材・定番教材の授業がもっとうまくいく「最強板書」80 ◇うまい教師はこうする！「最強板書」づくりのポイント ◇新教材・定番教材の「最強板書」のつくり方・使い方</p> <p>【連載】◇学びが活性化する！今月の「言語活動&話し合い」ガイド ◇言語化する力を哲学する ◇本当は楽しい語彙学習</p>
社会科教育 (明治図書)	5月号	<p>【特集】多様な考えを引き出す！主体性を育てる発問づくり ◇多様な考えを引き出す！「よい発問」の条件 ◇子どもの本音や心を引き出す発問のあり方 ◇導入・展開・終末の学習過程から考える！発問デザイン ◇発想力を鍛える！難問を解く時に必要な「発想の転換」どう促すか ◇「発問」でつくる！社会科「探究」授業デザイン ◇多様な考えを引き出す！主体性を育てる発問と授業展開プラン</p>

<p>数学教育 (明治図書)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】永久保存版 授業、評価で使える良問100題</p> <p>◇素因数分解の活用方法を説明しよう ◇時計の針が重なる時刻は？</p> <p>◇伝統模様に含まれる図形の面積を求めよう ◇速算のからくりは？</p> <p>◇特殊な解き方に学ぼう ◇証明を読んで改善しよう ◇ハイジのブランコの長さは何m？ ◇調査方法が適切でない理由を説明しよう</p> <p>◇正三角形になる理由を説明しよう</p>
<p>理科の教育 (東洋館出版社)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】「できる！観察・実験」リスクマネジメントの一工夫</p> <p>◇観察・実験の事故事例に着目する</p> <p>◇観察・実験を通じた学ぶことの楽しさや成就感の体得</p> <p>◇観察・実験の意義と事故の防止</p> <p>【連載】◇教材研究一直線 「ストーム・グラス」を作る</p> <p>◇生徒をひきつける観察・実験 偏光板を使った光の不思議な現象</p> <p>◇教材の隠し味 元素記号ブック</p> <p>◇デジタルで子どもワクワク！「ネイチャーフォトビンゴ」</p>
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集1】春から始める「音読」習慣</p> <p>【特集2】国際交流プロジェクトの実況中継</p> <p>◇台湾の高校生徒とのオンライン交流プロジェクト</p> <p>◇大使館と連携して取り組む国際交流</p> <p>◇7つの道具を媒介にした国際交流プロジェクトの取り組み</p> <p>【特別記事】2024年度大学入学共通テスト英語（リーディング） 問題分析から考える授業デザイン</p> <p>【連載】◇チーム中学高校英語 サステナブルな授業磨き ◇小学校英語授業のアイデアBox ◇中学校文法事項導入の型づくり ◇はじめてみよう辞書指導 ◇評価・テストのお助けQ&A ◇心理的安全性のある教室づくり ◇英語教育そもそも談話室 ◇「実践マンガ」英語教員よもやま話 ◇ENGLISH DETECTIVE ◇非理想的コミュニケーション論</p> <p>◇意外と通じる!?発音バラエティ ◇英語指導に活かせる日本語文法講座 ◇ニュース英語の読み方・学び方 ◇A to Z for SDGs ◇生成AI活用術研究所 ◇生成AI時代に英語教師は必要か？ ◇ICT活用の大ワザ・小ワザ ◇教員不足の行く末 ◇Alice in Wonderful Words ◇洋楽名盤遺産 King of Delta Blues Singers</p>
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】永久保存版 道徳の授業技術大全</p> <p>◇道徳授業者として身に付けたい授業技術とは</p> <p>◇まずは身に付けたい基礎的な授業技術</p> <p>◇Level別 必ず身に付けたい道徳の授業技術</p> <p>◇さらに授業を豊かにするプラスαの授業技術</p> <p>【連載】◇先生、新卒の私に道徳授業のつくり方を教えてください</p> <p>◇戦後道徳教育実践史 あのとき、何が行われていたのか</p> <p>◇高知県の道徳授業 「立ち止まり、悩む」道徳の授業</p>
<p>授業力&学級経営 力 (明治図書)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】子どもの心を動かすとおきのお話集</p> <p>◇達人教師の「語りの技」と「とおきのお話」</p> <p>◇朝の会から学級通信まで使える！子どもの心を動かすとおきのお話 学級開き、友達・クラス、悩み、家族・社会、命・自然</p>

		<p>◇アツく学び、温かくつながる！「ゆるアツ」学級経営</p> <p>◇深読み！最新教育ニュース ◇授業名人の発問の法則</p>
生徒指導 (学事出版)	5月号	<p>【巻頭インタビュー】学校現場で求められる若手育成の新常識</p> <p>【特集】保護者を学校の味方に！</p> <p>◇生徒指導における「家庭（保護者）」の重要性</p> <p>◇保護者と協力するための方策 ◇保護者との円滑な連携のために</p> <p>◇不登校への対応事例から見る保護者対応のポイント</p> <p>◇保護者対応における法務相談体制</p> <p>【連載】◇日常の教育活動を通じて実践する発達支持的生徒指導</p> <p>◇「不登校を克服する」とは ◇5月病にどう対応する？</p> <p>◇えざわ先生の時間のつくりかた 仕事を3つの目で見てみよう</p>
	増刊号	<p>【特集】SC SSW SLとの連携で早期解決！</p> <p>「専門家」とつながる生徒指導</p> <p>◇専門家チームとは？</p> <p>◇専門家チームの支援の流れ ケース会議の実際 各事例ケースのその後</p> <p>◇パフォーマンスを高める専門家チームの在り方について</p>
教職研修 (教育開発研究所)	5月号	<p>【巻頭インタビュー】令和の学校をどう支えていくか</p> <p>【特集1】管理職とみんなでつくる「メンタルヘルス」にいい学校</p> <p>◇メンタルヘルス不調の要因とサインの見つけ方</p> <p>◇保護者対応に悩む教職員を「チーム学校」で支える</p> <p>◇孤立する教職員を救う「対話」－「困った」を言い合える関係をつくる</p> <p>◇無責任な「君ならできる」から根拠のある「君だからできる」へ</p> <p>◇安心して休める・復職できる伴走者としての管理職へ</p> <p>◇意図的にリラックスできる仕かけが必要です</p> <p>【特集2】授業改善の現在地－学習指導要領の折り返し次期改訂に向けて</p> <p>◇現行指導要領、令和の日本型学校教育、GIGA スクール構想の関係</p> <p>◇変革の現在地を子どもの学びの姿で検証する/田村学/奈須正裕</p> <p>◇生徒の「授業評価アンケート」を中心に授業改善を</p>
初等教育資料 (東洋館出版社)	5月号	<p>【特集2】各教科等における指導の充実・改善②</p> <p>◇事例 図画工作 家庭科 体育科 外国語活動・外国語科 道徳 等</p> <p>【特集2】小学校外国語教育と中学校外国語教育の連携の充実</p> <p>◇小中連携に必要な要素及び連携する際の留意点</p> <p>【巻頭言】文化芸術を通じて自分を学ぶ</p> <p>【教育の扉】欲しい音を自分の手で引き出す</p>
中等教育資料 (学事出版)	5月号	<p>【特集】OECD 生徒の学習到達度調査2022年調査 (PISA 2022)」の結果を踏まえた今後の対応</p> <p>◇21世紀の市民のための数学的リテラシーの育成に向けて</p> <p>◇PISA 2022の結果に見るGIGAスクール構想の影響</p> <p>◇実践事例 文脈の中で学ぶ探究的な数学の授業</p> <p>◇実践事例 インタラクティブ型学習とICT活用の実践</p> <p>【連載】◇特色ある教育活動 山形県・茨城県</p>
学校教育相談 (ほんの森出版)	5月号	<p>【特集1】「言葉づかいの乱れ」が気になるとき</p> <p>【特集2】欠席が目立ち始めた子への“超”初期支援</p>

<p>実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】 専門家に聞いてみよう！ 特別な教育ニーズのある子への個別最適な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇未来へつなぐ個別最適な学び/中邑賢龍 ◇読みに困難のある子ども 夢中になって読書を楽しめる環境づくり ◇あらためて“居場所”を問う～「選択の自由」か「学力の格差」か～ <p>【連載】 ◇特別支援教育のファーストステップは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇プロ意識が伝わる挨拶・連絡帳・面談・障害者理解 ◇知的障害のある子ども 将来に向けた自立活動の目標設定 ◇学校全体で支援しよう！子どものポジティブな行動 ◇国公立大学を志望する生徒への通級指導モデル
<p>特別支援教育研究 (東洋館出版社)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】 わくわく、いきいき！楽しみながら力が育つ「各教科等を合わせた指導」～成長を実感できる授業へのヒント～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生徒と共に考え、生徒とつくる共に育つ授業づくり ◇学習に遅れた子どもがそれぞれの個性を発揮できる学びの場とは？ ◇地域の特色を生かした教育活動の展開 ～クラウドファンディング「花と緑の村づくり」～ <p>【連載】 ◇「国立特別支援教育研究所」をもっと知り、活用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇実践レポート 生徒が自ら運営する校内コンビニの軌跡 ～近隣事業所と共につくる専門教科（流通・サービス）の実践～
<p>特別支援教育 (東洋館出版社)</p> <p>春号</p>	<p>【特集】 自己の在り方生き方を考える高等部での教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇視覚障害①：自分らしい生き方の実現を目指して ◇視覚障害②：社会を形成する一員という認識をもつ思考の整理とキャリアデザイン ◇聴覚障害①：大学卒業を見据えた高等部におけるキャリア教育 ◇聴覚障害②：社会とのつながりを意識した教育活動 ◇知的障害①：自分の人生をよりよく生きようとする生徒を育てるために ◇知的障害②：課題対応能力の向上を目指して ◇肢体不自由：<今>を<未来>につなぐキャリア教育の充実に向けて ◇病弱：精神疾患等がある生徒が自己の人生を切り開いていくためのキャリア教育 <p>【連載企画】 ◇実践！ICT 活用 ◇子供をささえるネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇卒業生は今 ◇研究最新情報 ◇教育委員会の取組 ◇施策だより
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p> <p>4月号</p>	<p>【特集】 読書を勧めたいけれど、とまどってしまうこと Q&A</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「なんで、本を読んだほうがいいの？」の問いかけに ◇児童生徒のリクエストに、どこまで応えたらよいのでしょうか？ ◇貸出冊数や読書冊数の表彰は、意味があるのでしょうか？ ◇読みづらさを感じている子に、どう対応すればよいのでしょうか？ <p>【連載】 ◇学校図書館あるある～♪</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇役に立つ！Book Guide 『地図を描こう！：あるいてあつめておもしろがる』岩波書店 『本屋図鑑：だから書店員はやめられない！』廣済堂出版 ◇戦後の読書と子どもとー戦後の読書指導史をたどる 序章 焼け跡のただ中に立つ：大村はまという生き方

<p>高校教育 (学事出版)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】働き方改革、待ったなし！</p> <p>◇働き方改革は道半ば</p> <p>◇ICT等を活用した業務改善の取組 東京都の事例から</p> <p>◇「文書半減プロジェクト」による働き方改革 山梨県の取組</p> <p>◇学校の「ティール組織化」が促す「働き方改革」</p> <p>◇DX化と創造的な実践 「創造的な道具」としてのICTを目指して</p> <p>【特別企画】令和6年能登半島地震、被災地の高校のいま</p> <p>【連載】◇ちょっと拝見 学校訪問 RUGBY SCHOOL JAPAN</p> <p>◇「好き」や「得意」を軸に学ぶために必要な好奇心の育み方</p> <p>◇「いじめ加害者を出席停止に」の是非を問う</p> <p>◇「グローバル教育」と「探究」は学びの両輪 茨城県勝田中等教育学校</p> <p>◇「探究」を探究する ワクワクをカタチに！ 栃木県教委</p> <p>◇2024年教育の旅 データ駆動型進路指導の功罪</p>
<p>道徳と特別活動 (文溪堂)</p> <p>4月号</p>	<p>【特集】好スタートを切る！新学期準備 TO DO リスト －1年間を楽に進めていくために必要なこと－</p> <p>【連載】◇現代的な課題に道徳科はどのように立ち向かうか</p> <p>◇年度当初の「学級経営」の基本（2ヶ月の指導改善プラン）</p> <p>◇はたらく先生の心を楽に 縮小する日本で教員として働くということ</p> <p>◇生徒指導のナショナルスタンダード</p>
<p>学校事務 (学事出版)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集】学校における多職種連携を考える</p> <p>◇これからの「チーム学校」における事務職員への期待</p> <p>◇医療・福祉現場の実践から学校における多職種連携のヒントを探る</p> <p>◇学校の多職種連携に向けて 専門スタッフ等の職務内容</p> <p>【巻頭インタビュー】学校現場で求められる若手育成の新常識</p> <p>【調査レポート】文部科学省「公立特別支援学校における教室不足調査」</p> <p>【連載】◇語ろう！学校財務 財務担当者としての業務改善への関わり</p> <p>◇あってよかった事務研究会 地区主催の研修会と若年事務職員の成長</p> <p>◇学校評価 保護者アンケートの分析</p> <p>◇事務職員とマネジメントー学校事務観の転換</p> <p>◇今月の書評 『校長の力 学校が変わらない理由、変わる秘訣』中央公論 『叱らない』が子どもを苦しめる』筑摩書房</p>
<p>指導と評価 (日本教育評価研究会)</p> <p>5月号</p>	<p>【特集1】主体的・対話的で深い学びがめざすもの（2）</p> <p>【特集2】課題予防的生徒指導をよみとく</p> <p>◇発達指導的生徒指導を基盤とした課題予防的生徒指導</p> <p>◇課題予防的生徒指導からみた「SOSの出し方教育」</p> <p>【連載】◇生徒との対話を通して個別最適な学びをめざす 書く力を中核とした授業改善（1）</p> <p>◇言語技術としての「事実と意見の区別」（2）</p> <p>◇特別支援の漢字教育 入門期の漢字教育アプリ「かんじダス」の開発とICT利用</p> <p>◇発達特性のある思春期児童へのほめ方・かかわり方</p>
<p>教育ジャーナル (Gakken)</p> <p>22号</p>	<p>【特別インタビュー】まずやるべきは業務量の適正化 総合教育会議を活用した見直しが必要では</p>

【特集1】授業参観 今また、不易である流行

【ZOOM UP 霞が関】「詰め込み」とのバランス 次期指導要領議論は

【特集2】何を大事にして、総合的な学習の時間を構想しているのか

【学研教育総研レポート】「PISA」からみえる学びの課題